

東京研修を終えて

1. 企業訪問について

私が今回の東京研修で一番印象に残っていることは1日目の午後の企業訪問です。私たちの班は、三菱商事を訪問させていただきました。三菱商事は国内のみならず、海外のさまざまなところに拠点をもち、600社以上の連結対象会社を持つ最も大きな商事の1つです。そんな超一流企業にお邪魔させていただくことになりとても緊張していました。

実際に訪問させていただいたときには、ビルのあらゆる出入り口のところに腕を組んだ警備員の方がいて、セキュリティーはとても厳重でした。しかし、警備のところを通過したあとの受付では、受付の方が優しく対応してくださり、また、緊張をほぐしてくれるような言葉をかけてくださり、少しリラックスして会議室まで行くことが出来ました。しばらく待っていると担当の方がいらっしゃって始まりました。その方は始めに受身で話を聞くのではなく、自分と照らし合わせるなどして、自分のものにしてもらいたいとおっしゃっていました。また、親切にも飲み物を注文してくださいました。私は今までにタッチパネルで会議室にジュースを持ってきてもらったことがなかったのでとても感動しました。お話の始めは三菱商事の説明でした。立派なパンフレットをいただき、それぞれの事業について説明を受け、いかにさまざまな事業に携わり、上手に他の会社と提携しているかがわかりました。

三菱商事の概要の説明があったあと、私たちは事前に考えていたものを含め多くの質問をしました。その中で私にとって役に立つだろうと思ったり、心に響いたと思ったりした質問をいくつか紹介したいと思います。

Q1 大学ではどのようなことを勉強し、どのような能力を身に着けなければなりませんか
A1 自分のやることに意志を反映させることです。それは、社会に出てからは受身であってはならず、自分で問題を見つけて解決する必要がある、意志を持って取り組むことで課題を設定することが得意になるからです。

Q2 三菱商事のような商社に入ろうと思ったきっかけや理由は何ですか

A2 仕事に誇りを持ちたい、人間味あふれる泥臭い仕事で社会に影響を与えたい、そして1つのメーカーにはあまり気が進まなかったため消去法で選びました。

そして話が進んでいくうちに、高校時代の話になりました。担当の方によると高校時代のときにはいい影響を与え合える友達と仲良くすることがいいとのことでした。そして担当の方は高校時代の2人の友達について話してくださいました。その2人の友達とは部活は異なっていたものの、クラスが同じでよく話す仲だったそうです。卒業後その2人の友達はどちらも失敗や苦勞をしながらも、自分の意志で決めたことに責任を持って物事に取り組み、成功されたそうです。担当の方も高校時代の友達からいい刺激を貰っているそう

です。この話を聞いて私も、高校時代の友達を大切にしようと思いました。また、自分で決めたことにはしっかりと責任を持って最後まで遣り通すことも心がけていきたいと思いました。そして、最後に気になっていたこととお伺いしました。それは、原油の価格が大暴落したことに影響を受けているため、これから資源分野についてはどのようにしていくのかということです。この質問に対して資源分野は安定しないけれどもこれまでどおりにして、たとえ損失が出たとしても他の分野で補っていく方針だそうです。

私は今回、三菱商事に訪問することができ、とてもよかったです。なぜなら実際に働いている方からお話をいただき、これからの自分を考えていく上でとても役に立ったと思ったからです。今回得たことをこれからの生活のモチベーションにしていき対と思います。将来三菱商事のような商社に就職できるように、これから勉強などをより一層がんばっていきたいと思います。

最後になりますが担当の方にはお忙しいところわざわざ来ていただきありがとうございます。また、優しく親切に対応していただいたおかげで聞きたいことをすべて聞くことができ、これからの自分の人生に大いに役立てていけると思いました。私たちにお付き合いいただき本当にありがとうございました。

2. 東京大学オープンキャンパスについて

私は 2 日目に東京大学のオープンキャンパスに行ってきました。東京大学は誰もが知っている通り、日本の大学の最高峰で、多くの人が入りたいと思っている大学です。今回は東京大学の本郷キャンパスの雰囲気を知ったり、どのようなことを大学で学んでいるのかを学んだりすることができました。私は 7 時半に他の人より早くホテルを出発して東大に向かいました。私は今法学部と経済学部で迷っていて、東北大のオープンキャンパスでは法学部を見てきたので、今回は経済学部の模擬講義を受けることにしました。経済学部の模擬講義は先着順だったので早めに並びました。講義室は地下にあり、そしてとても広かったです。

模擬講義の 1 つ目はデータの加工などについてで、JR 東海を例に出して説明していただきましたが、よく内容を理解することが出来ませんでした。2 つ目は日本経済の課題を数学的に考えるという講義でした。そこでは、ケインズの消費関数というものが出てきて初めは全く意味がわかりませんでした。しかし講義を受けるうちに話の内容がわかり、しかも利にかなっているグラフだったので私は感動しました。この模擬講義から経済学というのも面白そうだと思います。

模擬講義が終わった後は、東大のキャンパス内を散策しました。私はよく予備校のパンフレットなどに載っている安田講堂というところに行きました。雲がほとんどない青空の下に見える安田講堂は大きくそして綺麗でした。

私は今まで東京大学に行きたいと思ったり、受けたいと思ったりしたことはありませんでしたが、今回のオープンキャンパスを踏まえて慎重に志望大学を考えていきたいと思

ました。

3. ディレクトフォースについて

私たちは 1 日目の午前中にディレクトフォースというものに参加しました。新幹線と山手線を使い継ぎ、品川駅で降り、そこからしばらく歩くと笹川平和財団のビルに到着した。エレベーターで 11 階の国際会議場に到着して荷物を置いて中に入るとそこにはとても広い会議場がありました。

初めに笹川平和財団についての概要の説明を受けてその後グループセッションをしました。1 人目の方は学生の方に奨学金をあげるという仕事をされている方でした。主な仕事内容としては、戦争の影響で無国籍の方が父親を探してそして日本国籍への復帰をサポートすることだそうです。そして、やりがいを感じたときは物事が動いたことがわかったときだそうです。3 人目の方は中国と関係の深い方で中国と日本の違いについて教えてくださいました。主なものとしては、日本は計画性があり慎重だが、中国はチャレンジなほうがよく大雑把であるというようなことです。その方によるとコミュニケーション能力はとても大切で 2 年くらい海外に行くと良いのだそうです。4 人目の方は日本で初めて醤油ドレッシングを開発した方で、豊富な人生経験をお話いただきました。ドレッシングの開発までの道のりを教えていただきました。

今回ディレクトフォースで 4 人の方にお話を頂きましたが、どの方のお話もとてもおもしろく、ためになるお話でした。自分が今まで考えたこともなかったような仕事の話聞くことが出来てこれからの自分の視野を広げることが出来ました。

4. 最後に

今回の東京研修の 2 日間では、ディレクトフォース、三菱商事への訪問、OBOG との懇談会、そして東京大学のオープンキャンパスととても内容の濃いものでした。今回学んださまざまなことをこれからの人生に大いに役立てていきたいと思えます。最後に、ディレクトフォースの準備をしてくださった方々、三菱商事の方々、OBOGの方々、そして先生方には感謝しています。本当にありがとうございました。